

2026 年 4 月 30 日

地域の皆さまへ

竹田総合病院 病院長

カルバペネマーゼ産生カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CPE）について
【第二報】

CPE の検出につきまして現状をご報告させていただきます。

CPE は腸内細菌目細菌であり、腸内細菌叢の一部分を形成しているものです。そのため CPE が便から検出されたとしても大部分は感染症を起こしているわけではなく、保菌状態になります。当院での検出につきましてもほぼ全例が保菌状態でした。

今回、当院で 10 数件が検出されましたが、介護度が高い高齢者が入院するひとつの病棟に限局しておりました。保健所や外部の大学病院感染制御専門家の助言指導を頂きながら同病棟で感染対策を徹底して入院管理を継続してきました。新規入院を制限して、同病棟に入院中の全例について保菌調査を繰り返し、今月に入り新たに検出されることがないことを確認できました。そのため CPE を保菌している入院患者様と新たに入院される患者様の区域を分けることで新規入院の受け入れを再開することが可能と判断致しました。

CPE は 1 件でも検出されたら地域で相当に広まっていると考え、対策を講じなければならぬ喫緊の課題です。ほとんど保菌状態ですので、同じ人でも体調や抗菌薬の使用により検出されたり、検出されなくなったりするため油断することはできません。当地域でも世界的に警戒されている CPE は侵入してきています。特に介護度が高い高齢者に対する医療や介護の場面で基本的な感染対策を徹底していくことが本当に重要です。地域の皆さまにおかれましては、ご憂慮をお掛けし誠に申し訳ございません。職員一同、感染対策に対する努力を継続して参りますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上

【問い合わせ先】 竹田総合病院
感染防止対策室
電話：0242-29-9967